

第1回沖縄鉄軌道市町村会議(全体)

議事要旨

1 日時

南部：平成27年5月25日(月) 14:00～16:00

中部：平成27年5月27日(水) 14:00～16:00

北部：平成27年5月29日(木) 14:00～16:00

2 場所：南部合同庁舎5階第1～4会議室、中部合同庁舎4階第1・2会議室、 北部合同庁舎2階会議室

3 出席者 出席者

(1) 市町村

南部：那覇市、浦添市、糸満市、豊見城市、南城市、与那原町、南風原町、八重瀬町

中部：沖縄市、うるま市、宜野湾市、嘉手納町、北谷町、北中城村、中城村、西原町

北部：名護市、国頭村、東村、本部町、恩納村、宜野座村、金武町、今帰仁村

※今帰仁村、読谷村は欠席

(2) 事務局

沖縄県企画部交通政策課公共交通推進室長 武田真

沖縄県企画部交通政策課公共交通推進室主幹 寺本美幸

沖縄県企画部交通政策課公共交通推進室 主任技師 下地健

沖縄県企画部交通政策課公共交通推進室 主任技師 前村治

沖縄県企画部交通政策課公共交通推進班 主任技師 平良義尚

沖縄県企画部交通政策課公共交通推進班 主査 掘井大

4 主な議題

(1) ステップ2の検討内容について

5 議事要旨

(1) 事務局より議題に沿って説明を行い、意見交換がなされた。今回は最初の会議ということもあり、進め方や市町村の役割に関する質問が多かった。

(2) ステップ2の検討内容に関する市町村からの主な意見は下記のとおり

A) 将来像について

- ① 将来人口が減少に伴い自動車の交通量が減る可能性があり、また高齢者も圧倒的に多くなる。

- ② フィーダー交通のあり方については、十分検討すべき。
- ③ 交通結節点の整備は、土地の確保等自治体には大きなポイントとなる。
- ④ 鉄軌道等整備による過疎化への影響を検討すべき。

B) 評価項目について

- ① 自動車による鉄軌道までのアクセスとして、駐車場整備の検討は必要。
- ② 鉄軌道整備に係る地元市町村の財政負担はあるのか。
- ③ 運営主体の採算性が課題。
- ④ 評価項目に施工性があるが、実際の工事よりも用地買収や都市計画決定の手続きに時間を要するためその点にも留意すべき。

C) その他

- ① 鉄軌道の那覇～名護からの更なる延伸。